

別記 提案書評価基準

評価項目		採点	評価基準(着眼点)	評価(審査)に係る提出書類
I 業務理解等	1 基本的認識	最高 15点	本業務の目的、本市の雪対策に係る検討状況について十分理解しているか。 目安：「特に優れている」(10割)=15、「優れている」(8割)=12、「普通」(6割)=9、「やや不十分」(4割)=6、「不十分」(2割)=3	企画提案書
	2 体制・スケジュール	最高 5点	業務の遂行にあたり、実行性のある体制、業務スケジュールとなっているか。 目安：「特に優れている」(10割)=5、「優れている」(8割)=4、「普通」(6割)=3、「やや不十分」(4割)=2、「不十分」(2割)=1	業務従事者一覧、業務体制の概要及び実施方法、企画提案書
	3 類似業務実績	最高 5点	委託業務の実行力を示す類似業務の実績があるか。 目安：「特に優れている」(10割)=5、「優れている」(8割)=4、「普通」(6割)=3、「やや不十分」(4割)=2、「不十分」(2割)=1	類似業務等実績一覧
	業務理解等計	25 点		
II 企画提案	1 市民会議（ミニ・パブリックス）の提案	最高 20点	議論を引き出すための体制やプログラム、環境づくりなど、実効性、専門性を有する効果的な内容となっているか。 目安：「特に優れている」(10割)=20、「優れている」(8割)=16、「普通」(6割)=12、「やや不十分」(4割)=8、「不十分」(2割)=4	企画提案書
		最高 20点	参加者の議論を深めるための効果的な工夫があるか。 目安：「特に優れている」(10割)=20、「優れている」(8割)=16、「普通」(6割)=12、「やや不十分」(4割)=8、「不十分」(2割)=4	
	2 対話型説明会（オープンハウス）の提案	最高 10点	事前準備を含めスムーズな運営かつ市民意見収集に資する体制及び内容となっているか。 目安：「特に優れている」(10割)=10、「優れている」(8割)=8、「普通」(6割)=6、「やや不十分」(4割)=4、「不十分」(2割)=2	
		最高 10点	より多くの市民から意見収集（対話）ができるよう、人を集めるために会場づくりやしきかけなどに工夫があるか。 目安：「特に優れている」(10割)=10、「優れている」(8割)=8、「普通」(6割)=6、「やや不十分」(4割)=4、「不十分」(2割)=2	
	3 費用に関すること	最高 5点	積算根拠が明確であり、予算の範囲内で費用対効果の高い提案となっているか 目安：「特に優れている」(10割)=5、「優れている」(8割)=4、「普通」(6割)=3、「やや不十分」(4割)=2、「不十分」(2割)=1	
	4 その他	最高 10点	提案全体で本業務の目的達成に寄与する独自のノウハウや付加価値の高い提案となっているか 目安：「特に優れている」(10割)=10、「優れている」(8割)=8、「普通」(6割)=6、「やや不十分」(4割)=4、「不十分」(2割)=2	
企画提案内容計		75 点		
委員 1 人当たりの配点合計(A)		100 点		
委員4～7人(※1)による総配点数(A×4～7人)		400点～700点	〔最低基準評価点240点～420点(総配点数の6割)〕	

※1 審査(評価)事務を円滑にかつ早期に審議する目的から、評価点の満点等にあつては、評価に携わった実際の委員(出席者)数によって変動する場合がある。

※2 中間点(20点満点を17点とする等)による採点も可とする。